

2020年10月7日

## 2020年10月5日に春色デイサービスで起こった事故の原因と注意喚起

### ■概要

2020年10月5日午前9時40分頃、弊社の職員が送迎車両の消毒・清掃作業中に誤って車両のスライドドアに指を挟んでしまう事故が発生しました。

その後スライドドアがロックしてしまい、一切開けられない事態となり、消防に救助を求め、車両のスライドドアを破壊して頂き、近隣病院へ搬送してもらいました。

### ■調査と報告

再発防止の観点から調査をした結果、イージークローザー機能（半ドア等を自動で閉める機能）のついた車両の場合、指や物などを挟んだ状態でイージークローザー機能が作動してしまったら、一切扉が開かなくなることが判明しました。

近隣の皆様には大変お騒がせいたしました。救助を呼ばなければいけない事態だったことには間違いはなく、また職員も幸い軽症で済んだことをここにご報告させていただきます。

### ■注意喚起

今回健常の男性職員だったので幸い軽症で済みましたが、過去の事例では手の粉碎骨折等の重症を負ったケースがかなりの数あることが分かっています。

<https://news.livedoor.com/article/detail/2685919/>

（上記は2006年の記事ですが現時点でも当時と変わらず安全装置はついておりません）

小さなお子様がいるご家庭や、高齢者等にサービスを提供している事業者の皆様は特にご注意ください。バンタイプの福祉車両では、イージークローザー機能がついてない車両は私の知る限り存在しませんので、スライドドアやバックドアの開け閉めには、常に大きなリスクがともなっていることを注意喚起いたします。

### ■事故時の対応

万が一、車の扉に手が挟まった状態でイージークローザー機能が作動した場合には、人によっては骨を砕くほどの力が加わる可能性があります。作動したイージークローザー機能を解除する方法はありませんので、無理に引っ張ったりせずに、すみやかに119番通報して救助を求めてください。

合同会社はるいろ  
春色デイサービス  
厚木市岡田 4-22-33  
代表 大塚啓介